

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP04/018284

International filing date: 08 December 2004 (08.12.2004)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2003-418214
Filing date: 16 December 2003 (16.12.2003)

Date of receipt at the International Bureau: 04 February 2005 (04.02.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

09.12.2004

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 1 2 月 1 6 日
Date of Application:

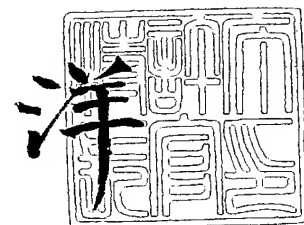
出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 4 1 8 2 1 4
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 3 - 4 1 8 2 1 4]

出 願 人 シャープ株式会社
Applicant(s):

2 0 0 5 年 1 月 2 1 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川



【書類名】 特許願
【整理番号】 03J04230
【提出日】 平成15年12月16日
【あて先】 特許庁長官 殿
【国際特許分類】 G06F 17/24
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府大阪市阿倍野区長池町 2 2 番 2 2 号 シャープ株式会社内
 【氏名】 中村 康洋
【特許出願人】
 【識別番号】 000005049
 【氏名又は名称】 シャープ株式会社
【代理人】
 【識別番号】 100091096
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 平木 祐輔
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 015244
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 0208702

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

ユーザがテキスト形式の文章の入力するための入力部と、映像及びテキスト形式の文章を表示する表示部と、修飾情報の組み合わせを格納する修飾情報テーブルと、ユーザの要求に応じて、上記修飾情報テーブルから最適な修飾情報の組み合わせを検出する修飾情報検出部と、該修飾情報検出部によって検出された修飾情報の組み合わせを文章に付加する修飾情報付加部とを有する修飾情報付文章作成装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の修飾情報付文章作成装置において、上記修飾情報テーブルはテーマ別に修飾情報の組み合わせを格納するテーマ別修飾情報テーブルを有し、上記修飾情報検出部はユーザが入力したテーマに基づいて、上記テーマ別修飾情報テーブルより修飾情報の組み合わせを検出することを特徴とする修飾情報付文章作成装置。

【請求項 3】

請求項 1 記載の修飾情報付文章作成装置において、上記修飾情報テーブルはキーワード毎に修飾情報の組み合わせを格納するキーワード別修飾情報テーブルを有し、上記修飾情報検出部はユーザが入力した文章のキーワードに基づいて、上記キーワード別修飾情報テーブルより修飾情報の組み合わせを検出することを特徴とする修飾情報付文章作成装置。

【請求項 4】

請求項 1 記載の修飾情報付文章作成装置において、上記修飾情報テーブルは送信相手毎に修飾情報の組み合わせを格納する送信相手別修飾情報テーブルを有し、上記修飾情報検出部はユーザが入力した送信相手に基づいて、上記送信相手別修飾情報テーブルより修飾情報の組み合わせを検出することを特徴とする修飾情報付文章作成装置。

【請求項 5】

請求項 4 記載の修飾情報付文章作成装置において、送信相手に関する情報を格納する送信相手情報記憶部と、外部の機器との間で通信を行う外部入力出力装置と、該外部入力出力装置からの情報に基づいて、上記送信相手情報記憶部を参照し、送信相手を検出する送信相手情報検出部と、を設け、上記修飾情報検出部は、上記送信相手情報検出部によって得られた送信相手に基づいて、上記送信相手別修飾情報テーブルより修飾情報の組み合わせを検出することを特徴とする修飾情報付文章作成装置。

【請求項 6】

請求項 1 記載の修飾情報付文章作成装置において、外部の機器から送信されたデータの修飾情報を解析し、それを上記修飾情報テーブルに登録する修飾情報解析登録部を有することを特徴とする修飾情報付文章作成装置。

【請求項 7】

請求項 1 記載の修飾情報付文章作成装置において、上記修飾情報テーブルは、最初から修飾情報を登録するための既登録部と、ユーザが新規に修飾情報を登録するための新規登録部と、外部の機器から送信された修飾情報を登録する外部登録部とを有することを特徴とする修飾情報付文章作成装置。

【書類名】明細書

【発明の名称】修飾情報付文章作成装置

【技術分野】

【0001】

本発明は修飾情報が付加された文章を作成する修飾情報付文章作成装置に関し、特に、映像上に文章を重ねて表示するのに好適な修飾情報付文章作成装置に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、テキスト形式の文章に、下線、網かけ等の修飾情報を付加する場合、文字入力操作とは別に修飾情報を付加する操作を行わなければならなかった。例えば、文字入力画面とは別の文字修飾設定画面を表示し、所定の文字領域を選択して、修飾情報の設定処理を行う。従って、例えば、1つの文章に複数の修飾情報を付加する場合、操作が複雑となる。特開平8-44733号公報には、修飾情報を付加する操作を簡単化する方法が提案されている。この公報に記載された例では、予め記憶された複数の修飾情報より所定の修飾情報を選択し、それを文章に付加することにより操作を軽減することができる。

【特許文献1】特開平8-44733号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

従来の手法では、ユーザが作成した修飾情報を記憶するため、ユーザは、一度は、修飾情報を作成しなければならない。また、文章に複数の修飾情報を付加する場合には、ワードプロセッサやパーソナルコンピュータのように、高度なユーザインターフェースを備える必要があり、例えば、携帯端末では実現できなかった。

【0004】

本発明の目的は、簡単な操作によって文章に修飾情報を付加することができる修飾情報付文章作成装置を提供することにある。

【0005】

本発明の目的は、携帯端末のようにユーザインターフェースが簡素なものであっても文章に修飾情報を付加することができる修飾情報付文章作成装置を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明によると、修飾情報の組み合わせを予め記憶しておき、ユーザは文章の入力時にテーマ等を選択することにより、複数の修飾情報を文章に付加することができる。

【0007】

本発明の修飾情報付文章作成装置は、ユーザがテキスト形式の文章の入力するための入力部と、映像及びテキスト形式の文章を表示する表示部と、修飾情報の組み合わせを格納する修飾情報テーブルと、ユーザの要求に応じて、上記修飾情報テーブルから最適な修飾情報の組み合わせを検出する修飾情報検出部と、該修飾情報検出部によって検出された修飾情報の組み合わせを文章に付加する修飾情報付加部とを有する。

【発明の効果】

【0008】

本発明によると、簡単な操作により修飾情報付の文章を作成することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0009】

以下、この発明の実施の形態について図面を参照しながら詳細に説明する。図1は、本発明の修飾情報付文章作成装置の構成を示すブロック図である。本例の修飾情報付文章作成装置は、入力部1、表示部2、制御部3、修飾情報検出部4、送信相手情報検出部5、修飾情報付加部6、外部入出力装置7、修飾情報解析登録部8、テーマ別修飾情報テーブル21、キーワード別修飾情報テーブル22、送信相手別修飾情報テーブル23、及び、送信相手情報記憶部24を有する。

【0010】

入力部 1 は、ユーザがテキスト形式の文章又は文字列の入力、修飾情報の選択を行うユーザインターフェースを有し、キーボード、操作ボタン、マウス等であってよい。表示部 2 は、映像及びテキスト形式の文章を表示する。制御部 3 は、修飾情報付文章作成装置の内部の各構成部へ動作要求、情報通知を行う。修飾情報検出部 4 は、テーマ別修飾情報テーブル 2 1、キーワード別修飾情報テーブル 2 2 又は送信相手別修飾情報テーブル 2 3 を参照し、最適な修飾情報の組み合わせを検出する。送信相手情報検出部 5 は、送信相手情報記憶部 2 4 を参照して、送信相手情報を検出する。修飾情報付加部 6 は、修飾情報検出部 4 によって検出された修飾情報の組み合わせを文章に付加する。外部入出力装置 7 は、外部の機器との間でファイル又はデータの送受信を行う。修飾情報解析登録部 8 は、外部の機器から送信されたデータの修飾情報を解析し、それをテーマ別修飾情報テーブル 2 1、キーワード別修飾情報テーブル 2 2 及び送信相手別修飾情報テーブル 2 3 に登録する。

【0011】

テーマ別修飾情報テーブル 2 1 は、テーマ別に修飾情報の組み合わせを格納する。キーワード別修飾情報テーブル 2 2 は、キーワード毎に修飾情報の組み合わせを格納する。送信相手別修飾情報テーブル 2 3 は、送信相手毎に修飾情報の組み合わせを格納する。これらのテーブル 2 1、2 2 及び 2 3 は、修飾情報を予め格納する既登録部、修飾情報をユーザが新規に格納する新規格納部、及び、外部から取得した修飾情報を格納する外部情報格納部の 3 つの格納部を有する。

【0012】

ここで、修飾情報について説明する。本発明にて想定している修飾情報は文字に付加することができる全ての装飾を意味する。従って、文字色、背景色、字体（太字、斜体、下線、取り消し線）、字の大きさ、ハイライト（光輝部）、ブリンク（点滅）、スクロール（文章移動）、絵文字を含む。絵文字は、文章（語句）に対応した修飾情報として扱う。

【0013】

図 4 A に示すように、テーマ別修飾情報テーブル 2 1 には、例えば、「電光掲示板」というテーマに対して、「文字色」が「オレンジ」、「背景色」が「黒」、「横スクロール」という修飾情報の組み合わせが格納されている。従って、ユーザが、例えば、「テーマ」として、「電光掲示板」を選択し、文章として「ニュースをお知らせします。」を入力した場合、「ニュースをお知らせします。」の文章が黒色の背景の上にオレンジ色にて表示され且つ横にスクロールされて表示される。このような修飾情報が付加されたテキストを、例えば、画像信号に多重化することができる。それによって、画像上に「ニュースをお知らせします。」の文章がスクロール表示される。

【0014】

図 4 B に示すように、キーワード別修飾情報テーブル 2 2 には、例えば、「有効期間」というキーワードに対して、「文字色」が「黒」、「背景色」が「黄」、「字体」が「絵文字」等の修飾情報の組み合わせが格納されている。従って、ユーザが、例えば、「キーワード」として、「有効期間」を選択し、文章として「有効期間が過ぎましたのでお知らせします。」を入力した場合、「有効期間が過ぎましたのでお知らせします。」の文章が黄色の背景の上に黒色にて花文字にて表示される。このような修飾情報が付加されたテキストを、例えば、画像信号に多重化することができる。それによって、画像上に「有効期間が過ぎましたのでお知らせします。」の文章が表示される。

【0015】

図 4 C に示すように、送信相手別修飾情報テーブル 2 3 には、例えば、「送信相手」が「A」に対して、「文字色」が「赤」、「背景色」が「白」、「字体」が「斜体」等の修飾情報の組み合わせが格納されている。従って、ユーザが、例えば、「送信相手」として、「A」を選択し、文章として「返事を下さい。」を入力した場合、「返事を下さい。」の文章が白色の背景の上に赤色にて斜体文字にて表示される。このような修飾情報が付加されたテキストを、例えば、画像信号に多重化することができる。それによって、画像上に「返事を下さい。」の文章が表示される。

【0016】

図4Dに示すように、送信相手情報記憶部24は、ユーザが修飾情報付文章を送信する相手、送信相手が属するグループ番号、メールアドレス（電話番号）、送信方法等を格納し、アドレス帳として機能する。グループ番号は、例えば、友人、職場、趣味等の分野毎に、ユーザが設定する。

【0017】

本例によると、以下に説明するように、ユーザは、テーマ別修飾情報テーブル21、キーワード別修飾情報テーブル22及び送信相手別修飾情報テーブル23を使用して、自動的に修飾情報の組み合わせを検索し、自動的に修飾情報の組み合わせを文章に付加することができる。しかしながら、ユーザは、入力部1より修飾情報の組み合わせを入力し、入力した修飾情報の組み合わせを文章に付加することもできる。

【0018】

図2を参照して、本発明の修飾情報付文章作成装置により、自動的に修飾情報が付加された文章を作成する動作を説明する。ステップS11にて、制御部3は、表示部2に「文書」及び「適用範囲」の入力画面を表示する。「文書」はテキスト形式にて入力される。「適用範囲」は、文章に修飾情報を付加する範囲を表す。例えば、全文、1～3行、3頁等である。制御部3は、ユーザによる「文書」及び「適用範囲」の入力を検出すると、ステップS12に進む。

【0019】

ステップS12にて、制御部3は、表示部2に「修飾情報の検出方法」の選択画面を表示する。「修飾情報の検出方法」として、「テーマ対応」、「キーワード対応」及び「送信相手対応」及び「直接入力」の4つの方法を表示し、ユーザへいずれか一つの選択を要求する。

【0020】

ステップS13にて、制御部3は、ユーザが「テーマ対応」、「キーワード対応」、「送信相手対応」及び「直接入力」のうちどれを選択したかを判定する。「テーマ対応」を選択した場合はステップS14に進み、「キーワード対応」を選択した場合はステップS15に進み、「送信相手対応」を選択した場合はステップS16に進み、「直接入力」を選択した場合はステップS17に進む。

【0021】

ステップS14にて、「テーマ対応」に関する処理を行う。制御部3は、表示部2に、「テーマ」の入力又は選択画面を表示する。ユーザは、画面上にて「テーマ」を入力又は選択する。制御部3は、ユーザから得られた「テーマ」を修飾情報検出部4に送信する。

【0022】

ステップS15にて、「キーワード対応」に関する処理を行う。制御部3は、表示部2に、「キーワード」の入力又は選択画面を表示する。ユーザは、画面上にて「キーワード」を入力又は選択する。制御部3は、ユーザから得られた「キーワード」を修飾情報検出部4に送信する。

【0023】

ステップS16にて、「送信相手対応」に関する処理を行う。制御部3は、表示部2に、「送信相手」の入力又は選択画面を表示する。ユーザは、画面上にて「送信相手」を入力又は選択する。制御部3は、ユーザから得られた「送信相手」を修飾情報検出部4に送信する。

【0024】

本例では、「送信相手」は、上述のようにユーザが入力又は選択してもよいが、以下に説明するように、自動的に検出してもよい。まず、送信相手情報検出部5は、外部入出力装置7から送信先に関する情報を取得する。送信先に関する情報には、送信方法及び送信先のアドレス、電話番号等がある。送信方法は、例えば、ファイル出力かそれともテレビ電話などの回線出力か、等である。送信相手情報検出部5は、外部入出力装置7から得られた送信先に関する情報に基づいて、送信相手情報記憶部24から送信相手を検出する。

送信相手情報検出部 5 は、送信相手情報記憶部 24 から得られた送信相手を修飾情報検出部 4 に送信する。

【0025】

ステップ S17 にて、「直接入力」に関する処理を行う。この場合、ユーザが直接入力した文字の選択範囲、修飾情報をすべて入力し、テキストを作成する。作成後、ステップ S21 へ進む。

【0026】

ステップ S18 にて、修飾情報検出部 4 は、テーマ別修飾情報テーブル 21、キーワード別修飾情報テーブル 22 及び送信相手別修飾情報テーブル 23 から修飾情報の組み合わせを検出する。ユーザが「テーマ対応」を選択した場合には、ユーザが選択した「テーマ」に基づいて、テーマ別修飾情報テーブル 21 から修飾情報の組み合わせを検索する。ユーザが「キーワード対応」を選択した場合には、ユーザが選択した「キーワード」に基づいて、キーワード別修飾情報テーブル 22 から修飾情報の組み合わせを検索する。ユーザが「送信相手対応」を選択した場合には、ユーザが選択した「送信相手」又は送信相手情報検出部 5 から提供された送信相手に基づいて、送信相手別修飾情報テーブル 23 から修飾情報の組み合わせを検索する。修飾情報検出部 4 は検出した修飾情報の組み合わせを修飾情報付加部 6 へ提供する。

【0027】

ステップ S19 にて、修飾情報付加部 6 はユーザが入力したテキスト形式の文章に修飾情報の組み合わせを付加する。ステップ S20 にて、制御部 3 は表示部 2 に修飾情報の組み合わせが付加された文章を表示し、ユーザに承認を求める。ステップ S21 にて、ユーザから承認が得られたか否かを判定する。承認が得られた場合はステップ S22 に進み、承認が得られない場合はステップ S18 に戻り、再度、修飾情報の組み合わせの検出を行う。

【0028】

ステップ S22 にて、修飾情報付加部 6 は修飾情報の組み合わせが付加された文章を外部入出力装置 7 へ出力する。外部入出力装置 7 は修飾情報の組み合わせが付加された文章の出力処理を行う。例えば、ファイルへの記録する場合には、多重化処理を行い、テレビ電話などの回線に送信する場合には、送信処理を行う。

【0029】

図 3 を参照して本発明の修飾情報付文章作成装置において、外部からの取得データから修飾情報を取得する動作を説明する。ステップ S31 にて、外部入出力装置 7 は、外部から送信されたデータからテキスト形式の文章を分離し、それを修飾情報解析登録部 8 へ送出する。

【0030】

ステップ S32 にて、修飾情報解析登録部 8 は、テキスト形式の文章に含まれる修飾情報を解析する。ステップ S33 にて、制御部 3 は、表示部 2 にて、ユーザに「外部から取得した修飾情報を登録するか否か」の判断を要求する。ユーザからの「登録する」の指示を検出した場合は、ステップ S34 に進み、ユーザからの「登録する」の指示を検出しない場合は、処理を終了する。ステップ S34 にて、修飾情報解析登録部 8 は、外部から取得した修飾情報をテーマ別修飾情報テーブル 21、キーワード別修飾情報テーブル 22 及び送信相手別修飾情報テーブル 23 の新規登録部に格納する。

【0031】

本例によると、携帯端末のようにユーザ入力インターフェースが簡素な機器でも、機器側にユーザが頻繁に使用する修飾情報の組み合わせを保持することにより、修飾情報の組み合わせを文章に自動的に付加することができる。従って、複数の修飾情報が付加された文章を容易に作成することができる。

【0032】

本例によると、ユーザが選択したテーマ、キーワード及び送信相手に応じて修飾情報の組み合わせを自動的に選択し、文章に付加する。また、付加する修飾情報を外部から取得

することができるから、修飾情報の作成が容易となる。

【0033】

以上、本発明の例を説明したが、本発明は上述の例に限定されるものではなく、特許請求の範囲に記載された発明の範囲にて様々な変更が可能であることは当業者に容易に理解されよう。

【図面の簡単な説明】

【0034】

【図1】本発明による修飾情報付文章作成装置の構成を示す図である。

【図2】本発明による修飾情報付文章作成装置において、修飾情報付文章の作成処理を示す図である。

【図3】本発明による修飾情報付文章作成装置において、外部からの修飾情報の取得処理を示す図である。

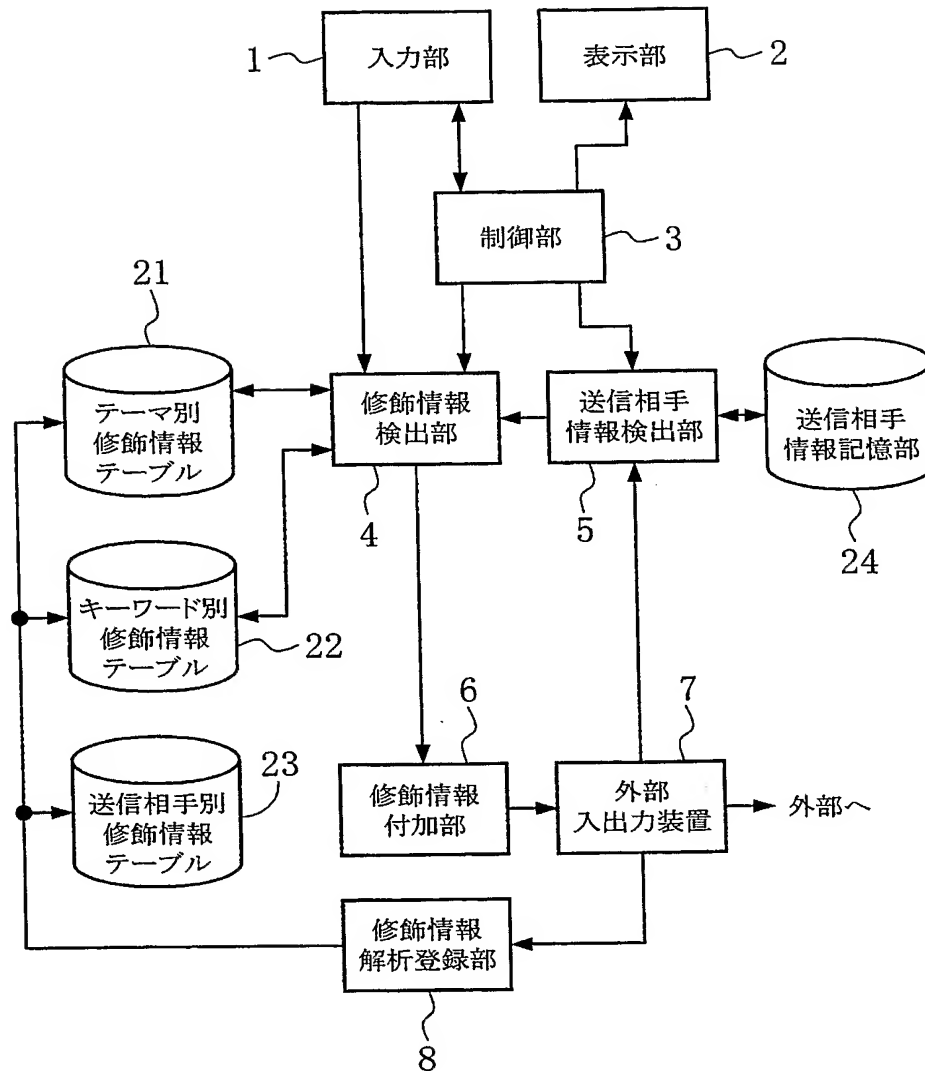
【図4】本発明による修飾情報テーブル及び送信相手情報記憶部の内容を説明するための説明図である。

【符号の説明】

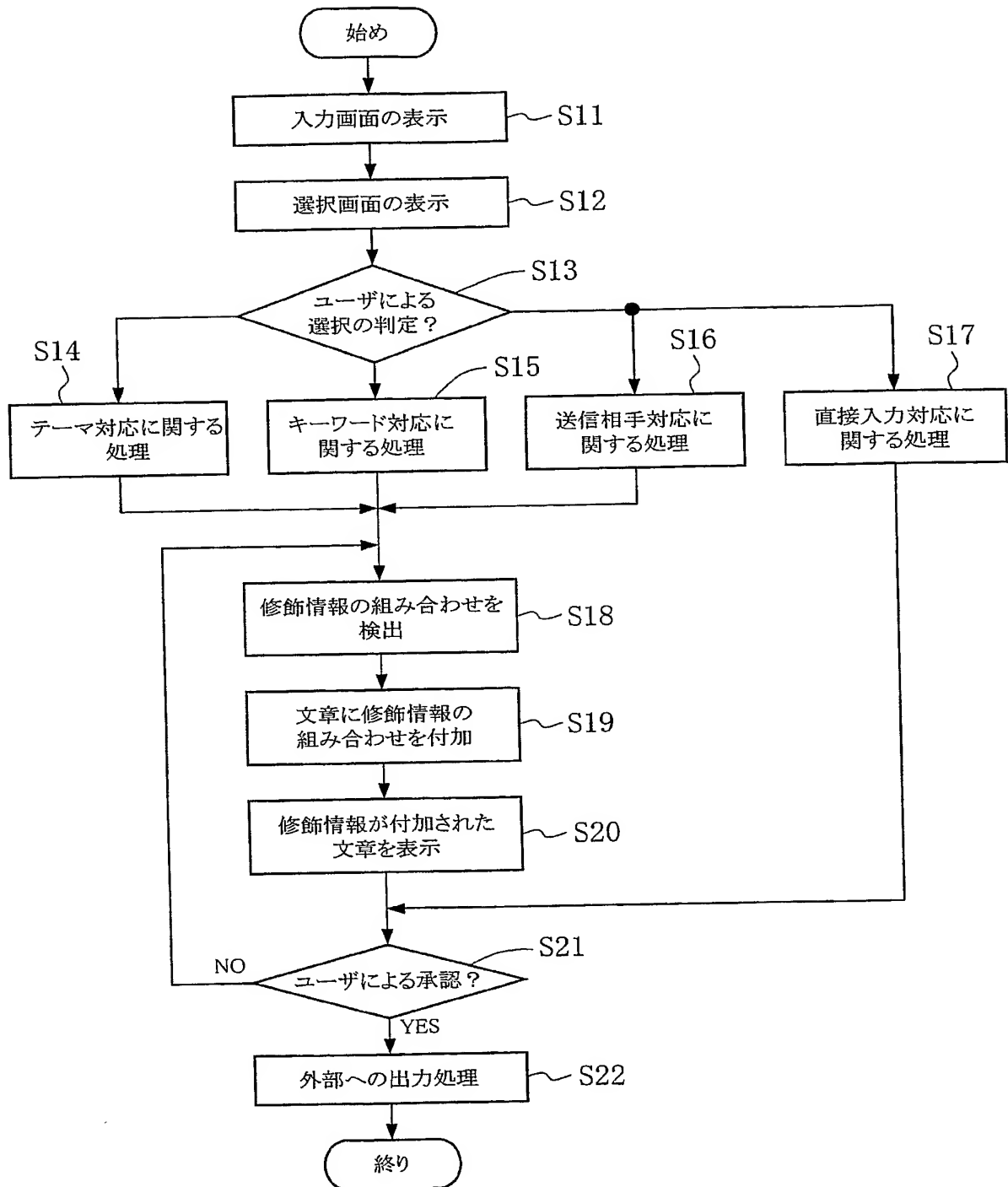
【0035】

1…入力部、2…表示部、3…制御部、4…修飾情報検出部、5…送信相手情報検出部、6…修飾情報付加部、7…外部入出力装置、8…修飾情報解析登録部、21…テーマ別修飾情報テーブル、22…キーワード別修飾情報テーブル、23…送信相手別修飾情報テーブル、24…送信相手情報記憶部

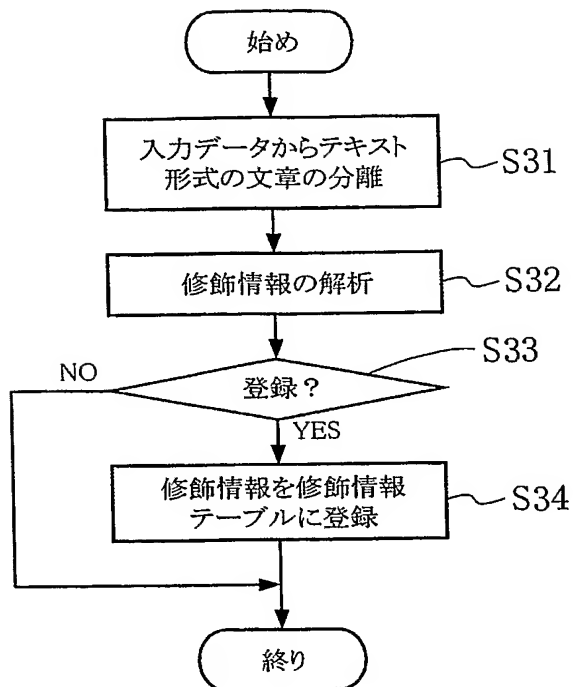
【書類名】図面
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

(A) テーマ別修飾情報テーブル

テーマ	電光掲示板
文字色	オレンジ
背景色	黒
横スクロール	

(B) キーワード別修飾情報テーブル

キーワード	有効期間
文字色	黒
背景色	黄
字体	絵文字

(C) 送信相手別修飾情報テーブル

送信相手	A
文字色	赤
背景色	白
字体	斜体

(D) 送信相手情報記憶部

送信相手	A
グループ	1
アドレス	〇〇×××
送信方法	ファイル／電話回線

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 簡単な操作で修飾情報付文章を作成することができる装置を提供する。

【解決手段】 修飾情報付文章作成装置は、ユーザがテキスト形式の文章の入力するための入力部と、映像及びテキスト形式の文章を表示する表示部と、修飾情報の組み合わせを格納する修飾情報テーブルと、ユーザの要求に応じて、上記修飾情報テーブルから最適な修飾情報の組み合わせを検出する修飾情報検出部と、該修飾情報検出部によって検出された修飾情報の組み合わせを文章に付加する修飾情報付加部とを有する。本発明によると、修飾情報の組み合わせを予め記憶しておき、ユーザは文章の入力時にテーマ等を選択することにより、複数の修飾情報を文章に付加することができる。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 3 - 4 1 8 2 1 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 5 0 4 9]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 9 日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府大阪市阿倍野区長池町 2 2 番 2 2 号

氏 名

シャープ株式会社